

富浦臨海（5年）報告

初めての富浦臨海。「右へ、ならえ！」と何回やり直したことでしょう。浜での整列は、きりっとした姿勢と大きな声。少しでもできていないとやり直しになるのです。子どもの顔はここで変わります。一日目は、「なぜそんなに厳しいの？」という表情も見られました。海で泳ぐことは大きな危険を伴います。陸でできないことは、海でできるわけがないのです。気を緩めることなく、泳ぐことに集中することが大切なのです。「右へ、ならえ！」はその命を守るために気を引き締める重要な場面なのです。



↑ 海から上がった時の、人数確認



← 遠泳(40分)は、2列になって泳ぎます。

3日目の夜の和楽会（お楽しみ会）が、仲間との絆を深めます。 →



← 完泳セレモニーは、全員が目標を達成したことを、みんなで祝います。肩を組んで「富浦臨海生活の歌」を声高らかに歌います。

浜で初めに行う人員点呼。
班ごとに中心を向いて、全体
がコの字になります。点呼す
る声と、海の音しか聞こえな
い緊張の時です。 →



遠泳には、代々引き継がれて
いる番号入りの帽子を着用
します。この時だけに使われ
る伝統の遠泳帽です。 ↓



女子の和楽会も、大変な盛り上がりです。司会者はこの
ように仮装して、元気に進めます。仮装すると、なぜか
性格が変わったように見えてしまいます。この日の富浦
大賞は……？ ↓



遠泳のゴールはみんなで祝います。最後の方
になると待つ子どもたちの人数が増えて、こ
のように水をかけての、少し手荒な祝福です。

↓



この三泊四日、子どもたちは水泳の
面だけでなく、同じ目的をもった仲間
との共同生活を通して、時間を大切に
することや、みんなで協力すること、
みんなの気持ちを察して行動すること
など、多くのことを学びました。日ご
とに凛々しく、そしてたくましくなっ

ていく姿が見られました。遠泳のゴールでは、先に終えた子どもたちが大声で応援しながらみんな待つ
ていました。そして次々とゴールする子に、水かけの祝福をして喜びを分かち合いました。「みんなの
心が一つになった」という感想も多く見られました。4日目の引き上げセレモニーでは、涙する姿もあり
ました。